

行田市地域公共交通機関プロジェクトチーム 開催協議結果

1. 設置目的

本市における公共交通機関のあり方について検討し、高齢化社会における本市の市民の移動手段を確保するとともに、将来に向けて持続可能な地域公共交通を検討する。

2. 協議範囲

- ・市内循環バス
- ・デマンドタクシー
- ・スクールバス
- ・免許返納者向けタクシー券発行事業（運転免許証自主返納者支援制度）
- ・路線バス

3. 開催結果

期日	部会	内容
令和2年4月30日	第1回統括部会	<ul style="list-style-type: none"> ・本市の地域公共交通における課題 ・今後のスケジュール
令和2年5月25日	第1回担当者部会	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクトチームの概要とスケジュール ・担当者部会での検討内容
令和2年6月17日	第2回統括部会	<ul style="list-style-type: none"> ・国際十王バス犬塚線の廃止 ・朝日バス前谷線の再編 ・観光拠点循環コースの見直し
令和2年7月10日	第2回担当者部会	<ul style="list-style-type: none"> ・循環バスとスクールバスの連携 ・観光拠点循環コースの見直し ・行田市の新たな公共交通体系 ・公共交通に関する意識調査
令和2年7月28日	第3回統括部会	<ul style="list-style-type: none"> ・観光拠点循環コースの見直し ・スクールバスと循環バスの連携 ・国際十王バス犬塚線
令和2年8月19日	第4回統括部会	<ul style="list-style-type: none"> ・観光拠点循環コースの見直し ・吹上線のJR行田駅乗り入れ ・国際十王バス犬塚線
令和2年8月25日	第5回統括部会	<ul style="list-style-type: none"> ・観光拠点循環コースの見直し ・運賃改定
令和2年9月9日	第6回統括部会	<ul style="list-style-type: none"> ・運賃改定 ・路線の見直し（北東部地域版）

期日	部会	内容
令和2年9月16日	第7回統括部会	<ul style="list-style-type: none"> 観光拠点循環コースのルート変更に係るバス停の名称変更 JR行田駅行きターミナル出発時刻 大堰永寿荘の利用状況 県内コミバス高齢者割引対応
令和2年9月25日	第3回担当者部会	<ul style="list-style-type: none"> 観光拠点循環コースの路線変更等 公共交通アンケート バスターミナルのハブ化
令和2年9月30日	第8回統括部会	<ul style="list-style-type: none"> バスターミナルのハブ化 コミバスの他市町村乗り入れ 公共交通アンケート
令和2年10月7日	第9回統括部会	<ul style="list-style-type: none"> 前谷線廃止を補完するルート
令和2年10月21日	第10回統括部会	<ul style="list-style-type: none"> 他市の路線バス運行支援補助金 吹上線乗降調査 スクールバスと循環バスの併用
令和2年11月4日	第11回統括部会	<ul style="list-style-type: none"> 他市の路線バス運行支援補助金交付状況 路線バス吹上線乗降調査の実施
令和2年12月9日	第12回統括部会	<ul style="list-style-type: none"> 路線バス吹上線乗降調査の結果 路線バス吹上線の減便 蓮開花時期の観光拠点循環コース臨時便
令和2年12月15日	第13回統括部会	<ul style="list-style-type: none"> 路線バス吹上線の減便
令和2年12月23日	第14回統括部会	<ul style="list-style-type: none"> 路線バス吹上線の減便
令和3年1月20日	第15回統括部会	<ul style="list-style-type: none"> 路線バス吹上線の減便と今後のスケジュール
令和3年2月10日	第16回統括部会	<ul style="list-style-type: none"> 路線バス吹上線の減便と今後のスケジュール
令和3年3月10日	第17回統括部会	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通計画の策定とスケジュール 循環バス新ルート案
令和3年3月24日	第18回統括部会	<ul style="list-style-type: none"> 循環バス新ルート案

5. 協議報告及び成果

○行田市地域公共交通計画の策定

- これまで本市では、地域公共交通に係る中長期的な構想を有していなかった。今後の人口減少や高齢化の伸展を考慮すると、持続可能な地域公共交通の維持を図っていくことは、必要不可欠である。

そこで、市中心部と各集落地域とを効果的かつ効率的に結ぶ地域公共交通網の計画的な構築のために、本市における地域公共交通網のあるべき姿を示し、今後の人口減少等にも対応しうる持続可能な交通インフラの維持を図ることを目的に、行田市地域公共交通計画を令和4年度から5年度にかけて策定することとする。

また、計画策定後は、本市における路線バスや循環バス、デマンドタクシーなどの見直

しは、同計画に基づき実施することとする。なお、当該計画の策定に当たっては、本市における持続可能な都市経営のために計画的な土地利用を進め、安心して暮らしやすい生活環境が構築されたまちを形成していくため「立地適正化計画」の策定も予定する。

○市内循環バス

- ・循環バスの運行については、上記「地域公共交通計画」を基に抜本的な見直しを図り、令和6年度から新たな体制で運行していくこととした。令和4年4月からの2年間の運行については、各コースに顕在する課題の解消と利便性の向上を目指して以下のとおり実施することとした。なお、観光拠点循環コースについては令和3年4月1日から運行を開始する。
- ・75歳以上の無料化見直しや適正な運賃設定については、所管課において継続して検討することとする。

観光拠点循環コース

課題として挙げられていた乗車時間が長いことや右回り・左回りが分かりにくいなどを解消するとともに、乗車人数の増加が見込める同循環コースを観光に特化したルートへ変更することで観光客の利用促進を図ることを目的として、令和3年4月1日から新ルートで運行する。1周52分のところ、変更後は44分に短縮されるほか、各バス停の出発時間を午前と午後それぞれ同分に設定し、利用者にとって分かりやすい運行ダイヤとした。併せて、バスターミナルやバス停の名称を見直すことでルートの魅力向上を図った。

北西循環及び北東循環

重複路線を解消するとともに、利用者の少ないバス停を省くことで乗車時間の短縮を図る。また、循環型から往復型にルートに変更することで、利便性の向上を図ることとする。（詳細は別紙の通り）

西循環と南大通り線

ダイヤを調整し、観光拠点循環と合わせた3路線で、バスターミナルからJR行田駅へ向かう便を増やし、利便性の向上とJR行田駅周辺の活性化を図ることとする。（詳細は別紙の通り）

○路線バス

- ・路線バスの利用状況を確認するため、令和2年11月12日及び13日に朝日自動車株式会社及び行田市の共同により吹上線の乗降調査を実施した。この結果、利用実態に則した減便案が同社から示され、令和3年3月1日から減便が実施された。定期券購入者から利用していた便が無くなったことへの意見が同社に対して2件あったものの、当減便実施後は混乱なく運行されている。
- ・国際十王交通(株)から犬塚線の廃止を検討していることの報告及び赤字補填の依頼を令和2年5月に受け、利用者の生活に係る足を確保する必要があることから、協議の結果、令和3年度より補助金を交付する。今後、熊谷市と協議会を立ち上げ、犬塚線の利用を促進するとともに運行及び補助金交付等について毎年度協議していく。
- ・令和5年度中に策定を予定している行田市地域公共交通計画では、本市における交通公

公共交通網のあるべき姿をしめすものであり、策定後は、路線バスの運行経路や本数等についても当該計画に基づき適宜見直していくことを前提に、各事業者との調整を行っていく。

○デマンドタクシー制度

- ・免許返納者向けに発行されているタクシー券は、デマンドタクシーを利用する際に使用できなかったが、令和3年4月より使用できるよう調整し、利便性向上を図った。
- ・利用者が増加している当制度について、利便性向上策や利用料金、運行範囲など今後の運用について継続して検討していく。